

沖田町会報

No.45

発行責任者 岡田 徳美
編集責任者 松永 正典

上半期活動状況について 長引くコロナ影響下での活動制限

「青春で密なんです」とは、甲子園で優勝した仙台育英の監督の名言ですが、町内会も密で、これまで3年間、準備しては中止となる悔しい思いを繰り返してきました。令和4年度上半期も同様でしたが、ただ我慢していただいただけでなく、動いていただいていたところを、お伝えしたいと思います。

今年こそはと張り切って日吉神社例大祭再興に向けて、山岡頭人の承諾を得、松永実行委員長の下第二回目の実行委員会を立ち上げ各方面との打ち合わせ作業等、進行しておりましたが、今年も残念ながら、神事のみになりました。五月二十一日に頭人、実行委員十一名で神社でお祓いをして頂き、記念写真を撮り、町内会館に掲示しております。十一月頃に次年度統前町の中表町に引継ぎを予定しております。

各部・関連活動の状況

総務

右の通り、今年度は実施可能と見込み予算化された事項についても活動制限により中止されたものがあり、予算執行状況は今後の支出が確定している積立金等を含めても、9月現在でおよそ45%程度となっています。今年度は会費減額がないため、下期の執行状況を見極めつつ、別途生活必需品(ごみ袋等)の配布などの還元策を検討します。

また、町内会館基金からの支出として、会館周囲への碎石入れ、玄関

頃に引継ぎを予定しております。

町内の行事も子供会の廃品回収、ラジオ体操、環境安全全部は公園の草刈り、さくら公園の清掃、等実施しては残念ながら中止になりました。

長年の課題でありましたセレステ翔梯の排水路の整備については、近隣の皆様の協力を得てこの度ようやく市道編入の運びとなりました。これにより大掛かりな工事になると予想されますが浸水が解消されると思います。又、前野町東側の幹線排水路についても南団地町内会と新屋振興会に要望を出して

おりましたが鳥木町と高美町間の排水路区間は完成しましたが、南団地側区間に関しては、今年度中に大倉オート様前から一五〇m、残りは令和五、六年度施行になります。交通関係については前野町一八班付近に昨年度交通安全看板2基設置しましたが、今回止まれるの交通

サッシの交換を行いました。今後東側の雨樋整備も予定しています。

玄関サッシ交換に伴って今後の鍵の管理は、岡田会長と小野副会長のみが所持となりますので、使用す



新しくなった玄関サッシ



令和4年5月21日 日吉神社参拝

祭典実行委員の記念写真

標識4基設置することができました。まだまだ宅地造成されることよって危険箇所が増えてくること予想されますのでその都度、対処していきたいと思っております。

以上町内会活動の一端を紹介させていただきます。行事中止のため予算的にも余剰が生じております。昨年度は町内会費を2か月分集めませんでした。今年度はすでに徴収と決定しておりますので、何等か還元の方法を考えたいと思っております。

町内会館の玄関サッシも新しくなり、鍵の開け閉めもスムーズになりました。気兼ねなく集える日が早く来ることを皆様と共に祈念いたします。(会長/岡田徳美)



新設された道路標識

る場合は鍵の借用・返却にご留意願います。



出生おめでとう！

25班

眞坂颯士(はやと)くん
駿さん 第2子(次男)
令和3年6月26日生まれ

24班

佐藤実紅(みく)さん
智洋さん 第2子(次女)
令和3年10月12日生まれ

19班

渡部桃正(とうせい)くん
竜正さん 第1子(長男)
令和4年4月8日生まれ



環境安全部

活動制限のある中、公園の草刈り作業は例年通り実施しました。

ローソン様横の道路の排水不良に対し、関係者と協議し舗装が改良され水溜り発生が改善しました。

道路補修について、7箇所ほどの要望(碎石入れ含む)があり西部SCに連絡し対処しました。また、各班内でも自主的に共用箇所への除草剤散布の取組みが増えています。

文化体育部

全町運動会が中止されたため、体協との連携以外の特段の活動はありませんでした。

子供会育成部

コロナ禍の影響により遊山は中止しましたが、4月・6月・8月の廃品回収、夏休みラジオ体操と絵画コンテスト、等を実施しました。

婦人部

敬老対象者名簿作成および社協から依頼された記念品配布、町内記念品配布など、これまで同様の活動を実施しましたが、各種イベント中止に伴い活動機会は少なくなっています。

高齢者会(むつみ会)

活動制限の中にあっても、コロナ感染対策を行いながら、会館周辺の

草取り作業やお茶会、ハッピー・ドレッジ様の花壇整備作業などを実施しています。今後もコロナの状況を見ながら、室内パターゴルフ大会や講演会、日帰りバス旅行などを計画しています。新規入会も随時受け付けています。



夏休みの子供会ラジオ体操風景

計報

- 10班 松永トミさん 2月18日(95歳)
- 14班 黒繁雄さん 4月20日(86歳)
- 9班 高橋幸子さん 4月22日(69歳)
- 20班 成田麗子さん 5月16日(74歳)
- 16班 石川綾子さん 6月10日(71歳)
- 2班 沼田啓子さん 9月7日(79歳)

謹んでご冥福をお祈りいたします

長年の要望実現へ 浸水被害の解消へ期待大

R3年度から着工されている、南団地と前野町間の排水路改良工事のR4年度分の工事が始まります。

〔背景〕

大雨の度に水路があふれることが心配されていた南団地と前野町の境を流れる側溝（公共下水道雄物川左岸3号幹線）の改修工事が、いよいよ10月着工となります。町内会としても、これまで市に毎年要望を提出してまいりました。大倉オート様より鳥木町側はR3年より工事が進み、6月に竣工しました。R4年度から3年をかけて、この続きの工事が行われます。この改修工事により、近年心配される大規模洪水への対応はもとより、歩行者道路が確保され、交通安全の観点からも期待されます。

〔工事内容〕

・R4年度の工事は、大倉オート様か



ら新屋高校下道路（寺内新屋雄和線）に向かって、150mの区間で、残り494mは、R5/R6年度に行われます。

・オープンシールド工法を採用し、断面内側2.1m×2.1m矩形のボックスカルバートと呼ばれる構造物を、1個ずつ埋めていくことで、狭いところや軟弱な地盤にも対応でき、音や振動が少なく、住宅地に適合すると言われています。

・これまで、横1.9m×深さ1m蓋なしが、2.1m×2.1m蓋有りになるので、異物の混入も防ぎ、相当の大雨にも対応できると思われます。（時間降雨量43mmの排水処理能力を發揮します）

・蓋の上は車は通れませんが、歩行者や自転車は通行可となり、道路との境にはポール等が設置されます。

・事業費は、R3年度2.2億、R4年度3億、

R5/R6年度9億、合計16億程度が計画されています。

〔心配されること〕

◎交通規制となります。

バス通り大倉オート様前および前野町工事箇所側道が11月中旬から2ヶ月間にわたり、車両全面通行止となります。（バス通りはその後3月いっぱい片側交互通行となります）車は迂回が必要となります。小学校スクールバスはルート変更を検討しています。

◎桜並木は伐採されます。

水路用地範囲内にある桜並木は伐採されます。カルバート埋め戻し後（工事完成後）の植栽は可能です。

避難所運営会議

9月20日、西部市民SCに於いて「第1回西部サービスセンター避難所運営会議」が開催されました。避難所運営会議とは、大規模な災害が発生した際に、各避難所においてあらかじめ地域住民が運営要領を検討し、必要事項をルール化するなどいざという時のための準備を整えておこうというもの

< 私道での交通安全のお願い >



秋田十條化成様から町内会の皆様に、交通安全に関するお願いがありましたのでお知らせします。地図上の青色の道路は日本製紙様の私道であり、秋田十條化成様が管理していますが、「近年交通量が増え、より安全に注意して運転して下さい。」とのことです。具体的には、①制限速度20km/hの遵守（悪天候時は徐行）、②T字路（住宅地道路との交差点）付近の徐行、③ローソン様駐車場「通り抜け禁止」への協力等です。散歩等をされる方々も安心して通行できるよう、日本製紙私道の交通安全に町内会の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

で、施設の特長や地域住民の意見を取り入れた、より現実的、具体的な運用準備を行うものです。

会議の構成員は、市の要請を受けて各地区の振興会が推薦した団体から、適任者1〜2名を選出し、これに施設管理者と指定避難所の開設担当職員を加えて構成されます。新屋地区の場合、新屋地区町内会長研修会、市民憲章事務局、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、新屋地区スポーツ協会の各団体が推薦されており、それぞれの団体から数名ずつ選任されています。

20日の第1回会議では、市防災安全対策課の八木橋課長・舟木参事の参加をいただき、「避難所の現状確認」をテーマに参加者で意見交換を行いました。◎避難所での健康面でのケアを地域在住の看護師などの専門職の方に依頼してはどうか。◎完成したルールは避難する側（地域の人）も知っておくべ

きだが、情報発信する予定はあるか。◎支援避難者の把握が必要ではないか。◎避難期間はどれくらいを想定しているか。◎支援物資の備蓄状況をどう考えているか。などの意見が出され話し合いが持たれました。

今後およそ1年間をかけて、様々なテーマについて話し合い、一定の方向性を見出すことを目標として、ルール等の作成に反映することにしており、最終的にはこれに基づいた避難所運営訓練を実施したいとされています。

災害への備えとして最も重要なのは、個人個人の適切な避難行動により、人的被害を最小限にとどめるということです。いざ避難するときのた

